

授業科目名【 乳児保育Ⅱ 】

1年生での保育所実習も振り返りながら、乳児保育Ⅰでの学びを踏まえて、知識に加えて現場での事例を交え、より現場での保育のイメージがしやすいように説明をしていった。また学んだ知識を応用しながら実習及び現場での実践につながるよう指導計画を立てて検討し、保育所実習Ⅱで活用できるようにした。人形や教材を使って演習も行い、具体的に実践につなげるようにしていった。

授業科目名【 子ども文化 】

具体的な子ども文化財の資料を活用して説明し、まず教員が資料を用いてデモンストレーションを行うことで、実践のイメージがもちやすいようにした。また、学生が各自で実際に制作したものをおはなし会の形式で発表することで実践力を身につけると共に、他者の様子も見て学ぶこともねらいとした。さらにお互いの評価点や改善点を伝え合うことで、より工夫した作品を作り、実践する意欲が高まるように心掛けた。特に認定絵本士の取得を視野に、外部講師の協力等も求めて絵本に関する知識、技術が身につくようにした。

授業科目名【 子ども学基礎演習 】

子どもや保育への理解を体験的に深めることができるように、学生が主体的に考え工夫し、他者と協力しながら活動することを意識しながら授業・演習を行った。実際に子どもたちと触れ合う機会はほとんどもてなかったが、学んだことを確認したり軌道修正したりしながら、実践力が定着するように心がけた。

授業科目名【 こども学特別演習 】

学生の主体的な学びを重視しながら、積極的に企画を出し合い、本学「えほんのへや」でのおはなし会、地域連携でのおはなし会、親子ふれあいルームなどに出向いてのクリスマス会など子どもたちと触れ合いながら、応用的な実践力が身につくように計画・実践していった。季節や子どもの年齢に応じた活動を工夫し、楽しみながら実践力を身に付けることができたと思われる。

授業科目名【 保育実習指導Ⅰ 】

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で実習の制約はあったものの、実習先の理解と協力によって感染症に留意しながら子どもたちを守り育てるための実習に向けた指導ができた。様々な児童福祉施設の特徴を理解したうえで、授業で学んだことが実際の保育実習現場で活かせるように、また実習を通して自分の課題に気付いて次の実習に向けた改善ができるように、それぞれのねらいを明確にする自己課題シートや自己振り返りシートを活用した演習を行った。

授業科目名【 保育実習指導Ⅱ、Ⅲ 】

自己課題振り返りシートを用いて保育実習Ⅰでの課題を明確にすることで、次の実習で課題の解決に向けた具体的な取り組みができるようにしていった。またお互いの課題の情報交換をすることで課題を多面的に捉えて解決に向けられるようにしていった。

授業科目名【 保育・教職実践演習（幼稚園） 】

実際に保育指導計画を作成して対面授業で模擬保育を行うことで、保育の実践力を養った。また、全員で保育を振り返り、様々な意見を出し合うことで、多面的な視点をもって課題解決に向けた関わりができるようにしていった。

授業科目名【 保育総合表現 】

受講する学生が少なかったが、少人数でもできることを工夫し、本学マロリーホールを会場に、シオン山幼稚園の子どもたちを招待して作品の発表を行うことを目標に音楽劇を準備していった。これまで学んできたことを総合的に活用し、保育現場で活用できることをねらいに立てて音楽劇のシナリオを作り、演技・演出に加え、音響や照明も学生同士で話し合いながら進めていった。学生が主体的に活動できるように教員はできるだけサポートに回り、作品の完成へと導いた。急な寒波のために計画通りの実施はできなかったが、困難な状況を工夫して乗り越えることも学べたと思われる。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
保育学会		2018年5月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
・ コラボキャンパスネットワーク 親子ふれあいルーム	実行委員 オブザーバー	2009年4月～2015年3月 2015年4月～現在に至る
・ 特別非営利活動法人 チャイルドライン北九州	理事	2013年3月～現在に至る
・ NPO 法人あゆみの森共同保育園	苦情解決体制における 第三者委員	2018年9月1日～2022年3月31日
・ 北九州市立島郷市民センター (島郷文化大学)	講師	2022年9月9日
・ 北九州市社会福祉研究所 (令和4年幼児教育研修 保育士等キ ャリアアップ研修分野②幼児教育)	講師	2022年6月13日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

学生募集委員会	2020年4月～2023年3月
教育経費予算配分委員会	2022年4月～2023年3月
後援会学校委員	2022年4月～2023年3月
地域連携室・子ども子育てワーキンググループ企画 「中高生のための絵本講座」講師	2022年7月2日